

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 内藤 まゆみ	(学部) 経済学部
1 重要事項 ◆研究 ・『青年期発達百科事典 第2巻』(子安増生・二宮克美(監訳)、丸善出版)のうち、「スポーツへの参加」章(271-281)の翻訳を終え、刊行した。原典は、スポーツ・キャリアの発達、スポーツ継続への動機づけ、社会性の獲得等、心理学的視点から青少年スポーツの諸側面に関する包括的な議論が展開されており、日本の状況文脈に即してその翻訳を行った。 ・研究の着想に関する文献講読 従来の「自己」に関する理論を発展させた、「対話的自己」論の文献講読を行った。「対話的自己」論とは、複数の自己の存在を仮定し、状況に応じて特定の自己が顕在化し、自己観形成の中心的役割を担うとする立場である。これによれば、自己とは絶対的に存在するのではなく、どの自己が顕在化するかに影響される相対的な存在となる。このような自己の相対性が、ストレスイベントの解釈とそれに起因するストレスに対して正の効果を持つとの仮説を設定し、その検討を行う研究計画を考案中である。今年度、データの収集および分析に着手する予定である。 ・最新の研究に関する情報収集 メディア心理学に関する読書会に出席、論文講読を担当した。特に、子どもを対象にした食マーケティングの問題を取り上げ、その心理的メカニズムと、個人的・社会的対応について紹介した。 ◆社会貢献 日本パーソナリティ心理学会大会活性化委員として、大会発表賞の選考に関わる活動を行った。	
2 その他の事項	